

⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

- ⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
疫学・生物統計学	2	○	○	○	○	情報リテラシー論	2	○	○	○	○
情報処理基礎実習	1	○	○	○	○						
情報処理統計学※栄養科学専攻	2	○	○	○	○						
情報処理統計学※保健看護専攻	2	○	○		○						
情報処理統計学実習※栄養科学専攻	1	○	○	○	○						
情報処理統計学実習※保健看護専攻	1	○	○	○	○						
情報処理実習	1	○	○	○	○						

- ⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

- ⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	○実践栄養学科:AI、生成AI、データ量の増加「疫学・生物統計学」(1回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:ビッグデータ、IoT、AI、Society5.0、データ駆動型社会、第4次産業革命「情報処理統計学」(1回目) →保健看護専攻:ビッグデータ、データ量の増加「情報処理統計学」(14回目)、生成AI、Society5.0、データ駆動型社会「情報処理統計学実習」(3回目) ○食文化栄養学科:ビッグデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会「情報社会リテラシー論」(1回目) Society5.0、データ駆動型社会、第4次産業革命、AI、IoT、ビッグデータ「情報リテラシー論」(7回目)
	1-6	○実践栄養学科:大規模言語モデル、AI最新技術の活用例「情報処理基礎実習」(5回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:生成AI、大規模言語モデル、強化学習、転移学習「情報処理統計学実習」(5回目) →保健看護専攻:AI最新技術の活用例「情報処理統計学実習」(3回目) ○食文化栄養学科:生成AI、大規模言語モデル、強化学習、転移学習「情報処理実習」(5回目) 栄養データ、気象データ、アンケートデータ、社会調査データ「情報リテラシー論」(3回目) 強化学習、転移学習、レコメンデーション、AIエージェント、AIアシスタント、マルチモーダルAI「情報リテラシー論」(11回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	○実践栄養学科:調査データ、実験データ「疫学・生物統計学」(1回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:ログデータ、構造化データ、非構造化データ「情報処理統計学」(1回目) →保健看護専攻:調査データ、実験データ、1次データ、2次データ「情報処理統計学」(1回目) ○食文化栄養学科:調査データ、実験データ、人の行動ログデータ「情報社会リテラシー論」(2回目) 栄養データ、気象データ、アンケートデータ、社会調査データ「情報リテラシー論」(3回目) ビッグデータ、オープンデータ、ログデータ、構造化データ、非構造化データ、1次データ、2次データ、メタデータ「情報リテラシー論」(8回目)
	1-3	○実践栄養学科:生産、消費、文化活動「情報処理基礎実習」(6回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:生産、消費、文化活動、物流、製造、マーケティング、サービス「情報処理統計学実習」(6回目) →保健看護専攻:データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「情報処理統計学実習」(3回目) ○食文化栄養学科:生産、消費、文化活動、流通、製造、サービス、マーケティング「情報処理実習」(6回目) 生産、消費、文化活動、流通、製造、サービス、マーケティング、インフラ、ヘルスケア「情報リテラシー論」(10回目)
(3)様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることによって価値を創出するもの	1-4	○実践栄養学科:言語処理、画像処理、音声処理「情報処理基礎実習」(5回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:データ解析、データ可視化「情報処理統計学実習」(7~16回目) →保健看護専攻:データ解析、データ可視化「情報処理統計学実習」(4~11回目) ○食文化栄養学科:データ解析、データ可視化「情報処理実習」(7~16回目) データの可視化、散布図と回帰、予測、クラスタリング「情報リテラシー論」(3回目) プロンプトエンジニアリング「情報リテラシー論」(6回目) 言語処理、画像処理、音声処理「情報リテラシー論」(9回目) マルチモーダルAI「情報リテラシー論」(11回目)
	1-5	○実践栄養学科:流通、製造、サービス、インフラ、ヘルスケア「情報処理基礎実習」(6回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:流通、製造、サービス、インフラ、問題解決に向けた提案「情報処理統計学実習」(6回目) →保健看護専攻:データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論「情報処理統計学実習」(4~11回目) ○食文化栄養学科:流通、製造、サービス、インフラ、問題解決に向けた提案「情報処理実習」(6回目) 流通、製造、サービス、マーケティング、インフラ、ヘルスケア「情報リテラシー論」(10回目) 課題抽出、問題解決(13・14回目)

(4)活用に当たっの様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	○実践栄養学科:ELSI、個人情報保護、データ倫理「疫学・生物統計学」(14回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:ELSI、データ倫理「情報処理統計学」(2回目) →保健看護専攻:個人情報保護、データ倫理「情報処理統計学」(14回目) ○食文化栄養学科:個人情報保護、プライバシー保護「情報社会リテラシー論」(4回目) ハルシネーション、フェイクニュース「情報リテラシー論」(6回目) ELSI、データ倫理、AI社会原則、データバイアス「情報リテラシー論」(12回目)
	3-2	○実践栄養学科:情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「疫学・生物統計学」(14回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)、情報漏洩等におけるセキュリティ事故の事例紹介「情報処理統計学」(2回目) →保健看護専攻:情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「情報処理統計学」(14回目) ○食文化栄養学科:情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「情報社会リテラシー論」(4回目) SNS、パスワード、個人情報、炎上、個人の特定、プライバシー「情報リテラシー論」(4回目) パスワード管理、情報漏洩、サイバーセキュリティ、サイバー攻撃、暗号、情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「情報リテラシー論」(5回目)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	○実践栄養学科:母集団と標本抽出「疫学・生物統計学」(7回目)、データの分布、データのばらつき「情報処理基礎実習」(13回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:データの種類、データの分布、データのばらつき、相関係数「情報処理統計学」(3～5回目)「情報処理統計学実習」(10回目) →保健看護専攻:データの種類、データの分布、データのばらつき「情報処理統計学」(1・2回目)、相関係数「情報処理統計学実習」(6回目) ○食文化栄養学科:データの種類の、データの分布、データのばらつき、相関と因果、クロス集計表「情報処理実習」(7～14回目) 散布図と回帰、予測、クラスターリング「情報リテラシー論」(3回目) データの種類の、データの分布と代表値、データのばらつき、相関と因果「情報処理基礎実習」(3～7回目)
	2-2	○実践栄養学科:データの比較「疫学・生物統計学」(9～11回目)、データ表現「情報処理基礎実習」(12回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:データ表現、データの比較「情報処理統計学」(4～7回目)「情報処理統計学実習」(12～16回目) →保健看護専攻:データ表現、データの比較「情報処理統計学実習」(4・5回目) ○食文化栄養学科:データ表現、データの比較「情報処理実習」(9～14回目) 散布図と回帰、予測、クラスターリング「情報リテラシー論」(3回目) 相手に的確かつ正確に情報を伝える技術や考え方「情報リテラシー論」(13・14回目) 棒グラフ、折線グラフ、散布図、データの比較「情報処理基礎実習」(3～7回目)
	2-3	○実践栄養学科:データの取得「疫学・生物統計学」(6・7回目)、データの集計、データの並び替え「情報処理基礎実習」(14～17回目) ○保健栄養学科 →栄養科学専攻:データの取得「情報処理統計学」(6回目)、データの集計、データの並び替え「情報処理統計学実習」(10～14回目) →保健看護専攻:データの取得、データの集計、データの並び替え「情報処理統計学」(1～3回目)「情報処理統計学実習」(1・2・4・5回目) ○食文化栄養学科:データの集計、データの並び替え「情報処理実習」(13・14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

AIの仕組みを理解し、適切に利用できる能力。
人びとの栄養や健康にかかわるデータの取り扱いや分析を、高い倫理観を持って実行するための情報リテラシー力。
本学の建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」を、データサイエンスで実現するための知識と技能の修得。

シラバス検索

検索条件設定 (特に明記のない限り、テキスト項目は中間一致検索)

開講年度	2025		
講義コード		講義区分	選択なし
講義名称	情報リテラシー論	担当教員	
講義副題		開講責任部署	選択なし
学則科目名称		開講学年	選択なし
講義開講時期	選択なし	必須/選択	
	～		選択なし
曜日	選択なし	科目分類	
時限	選択なし	キーワード	

以上の条件で検索

該当件数 5件 (1-5件目を表示)

＜前ページ 1 次ページ＞										
	開講責任部署	学年	講義コード	講義名称	講義副題	講義開講時期	講義区分	担当教員	必須/選択	科目分類
選択	女子栄養大学栄養学部 食文化栄養学科	1年	d15055000	情報リテラシー論		後期	講義	山田 耕太郎	必修	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）
選択	女子栄養大学栄養学部保健栄養学科 栄養イノベーション専攻	1年	e14250000	情報リテラシー論		前期	講義	山田 耕太郎	必修	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修），栄養データサイエンス領域
選択	女子栄養大学栄養学部保健栄養学科 保健養護専攻	1年	f14171000	情報リテラシー論		後期	講義	緒方 裕光	必修	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）
選択	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科	1年	a14180001	情報リテラシー論（ＡＢ）		前期	講義	緒方 裕光	必修	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）
選択	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科	1年	a14180002	情報リテラシー論（ＣＤ）		前期	講義	緒方 裕光	必修	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）
＜前ページ 1 次ページ＞										



シラバス参照

講義名	情報リテラシー論（ＡＢ）		
（副題）			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科		
開講学年	1年		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1時限
必須/選択	必修		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 緒方 裕光	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）

- ・管理栄養士として、情報社会において必要とされる倫理感・使命感・社会的責任を身につける。
- ・管理栄養士として、インターネットの利用に不可欠な基本的な知識と技術を修得する。
- ・コンピュータやインターネットを用いた自分の行動に責任をもてる。
- ・コンピュータ、OS、インターネット、情報セキュリティなどの用語や仕組みを説明できる。
- ・「知識・理解」、「汎用的能力と専門的技術・実践力」、「倫理観・使命感・社会的責任」と関連する。
- ・本授業の達成目標は、DP1、DP4、DP5のいずれとも強く関連する。

授業の概要

管理栄養士として情報社会に求められる情報リテラシーについて、狭義の情報リテラシーとして、①情報機器に関する操作技術、②データサイエンスに関する基本的知識について学ぶ。さらに、広義の情報リテラシーとして、③情報の収集から活用までの知識と考え方、④情報社会における倫理観やセキュリティなどを学ぶ。

授業形式

主にパワーポイントを用いた講義形式によって行う。必要に応じてiPad（パソコン）を用いて簡単な計算を行う。また、毎回の授業内で小テストを実施し解答終了後に解説を行う。配布資料はPDF形式でTeamsにアップするので、授業開始前に自分のタブレットにダウンロードしておくこと。授業内で行う小テストはFormsを通じて行う。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考	予習・復習
第1回	緒方 裕光	情報リテラシーとは何か	情報化社会の歴史、情報化社会の利点と問題	情報、データサイエンス、AI、セキュリティ	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第2回	緒方 裕光	インターネットの利用	インターネットの歴史と課題、インターネットの仕組みと活用	インターネット、情報システム	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第3回	緒方 裕光	情報倫理とセキュリティ	情報社会における倫理と責任	情報セキュリティ、著作権、情報倫理	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第4回	緒方 裕光	メディアリテラシー	メディアリテラシーの基本的視点	クリティカルシンキング、ソーシャルメディア、情報の信憑性	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習

第5回	緒方 裕 光	コンピュータの活用	コンピュータの仕組みと機能	情報システム、ハードウェア、ソフトウェア	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第6回	緒方 裕 光	情報の検索	情報の検索と収集、抽出	データベース、情報の形態、収集方法	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第7回	緒方 裕 光	情報処理 (1)	情報の表現	データの可視化、グラフ表現、集計表	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第8回	緒方 裕 光	情報処理 (2)	情報解析の基礎	エクセル計算、エクセル関数、データ分析	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第9回	緒方 裕 光	情報処理 (3)	統計解析を中心とした情報処理	統計学、記述統計、推測統計	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第10回	緒方 裕 光	AIとデータサイエンス	AIの定義、歴史、仕組み、活用、データサイエンスとの関係	AI、データサイエンス、ビッグデータ	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第11回	緒方 裕 光	情報リテラシーの活用 (1)	レポートの作成と編集	レポートの構成、構造化、目的、表現方法、ICTの活用と倫理	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第12回	緒方 裕 光	情報リテラシーの活用 (2)	プレゼンテーションの方法	パワーポイント、視覚化、グラフ表示、ICTの活用と倫理	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第13回	緒方 裕 光	情報リテラシーの活用 (3)	モデリング、シミュレーションなどの方法	モデル化、モデルの活用、将来予測	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第14回	緒方 裕 光	ICT活用による問題解決	問題解決におけるICTの役割と意義	問題解決の手順、情報の評価、情報発信、モデルやシミュレーションの活用	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第15回	緒方 裕 光	定期試験			

関連科目	疫学・生物統計学
履修上の注意事項	配布資料はPDF形式でTeamsにアップするので、授業が始まるまでに自分のタブレットのノートアプリ（Goodnotes）にダウンロードしておくこと。
事前・事後学修の内容	当該授業内容を事前にシラバスで確認しておくこと。また、小テストの内容について講義終了後に復習すること。さらに、特に関心を持った内容は自らの文献・資料収集を通して理解を深めること。予習・復習は週に60分以上行うこと。
成績評価の方法	定期試験結果80%、毎回の授業で行う小テストの結果20%により総合的に評価する。
定期試験準備	配布資料および各回に行う小テストを中心に復習すること。
教科書	なし
参考書	なし
教材	必要に応じて資料を配布する。

ウインドウを閉じる



シラバス参照

講義名	情報リテラシー論		
(副題)			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部保健栄養学科 栄養イノベーション専攻		
開講学年	1年		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2時限
必須/選択	必修		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）、栄養データサイエンス領域		
資格必須 1	食品衛生管理者及び食品衛生監視員必修		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 山田 耕太郎	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）	現代社会はAI（人工知能）によって大きな変化が起きていることを理解し、説明できるようになる。AIやデータサイエンスで得られた情報を正しく理解し、使いこなすための情報リテラシーを身に付ける。これらの達成目標はDP1、DP3と関連する。
授業の概要	AI（人工知能）が膨大なデータを効率よく処理して新たな知見や価値ある情報を生み出し、それを課題解決や意思決定に活かせる社会になっています。しかし新たに生み出された情報の価値を見極めるのはヒトの役割であるため、AIが活躍する社会において情報と正しく向き合うための「情報リテラシー」の重要性はますます高まっています。この授業では現代社会に無くてはならないAIと情報の価値を見極めるデータサイエンスを学びながら情報リテラシーを身に付け、使えるようにします。学修を進めるにあたってインターネット上の資料や動画、サービスを使うことがありますが、発信の際には個人情報や他人の人権には十分な配慮をしてください。またレポート作成や資料収集の際には著作権に注意し、盗用等が無いようにしてください。これらの配慮や注意点については授業でも説明します。なお、この授業は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」のモデルカリキュラムに準拠しています。
授業形式	主として講義形式で行うが、理解を深めるためにPCやタブレットを用いた演習、グループワーク、動画の視聴などを適宜交えながら授業を進める。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考	予習・復習
第1回	山田 耕太郎	情報リテラシーを学ぶ意義と目的	現在はスマートフォンひとつで簡単に情報を得ることができる一方で、その真偽を見抜くことが難しくなっています。AIの発達でますますその傾向が強くなる社会で正しく情報と向き合うために必要な「情報リテラシー」を学ぶ意義と目的を理解します。	データと情報、データサイエンス、AI(人工知能)、データ思考	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第2回	山田 耕太郎	データサイエンスとAI	データサイエンスとはデータから新たな知見や価値を引き出すために必要な学問領域で、AIの発展と密接な関係があります。みなさんが学ぶ栄養学がデータサイエンスとどのように関係しているのかを学びます。	データ思考、栄養学、食事記録、栄養計算、食事摂取基準	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り

					返り、知識の定着を図る
第3回	山田 耕太郎	データの読み解き方	栄養データや気象データ、アンケートデータ、社会調査データなど、日々たくさんのデータが扱われ、その結果はグラフや報告書などにまとめられます。それらのデータをどのように読み解くのかを事例とともに学びます。	栄養データ、気象データ、アンケートデータ、社会調査データ、データの可視化、散布図と回帰、予測、クラスタリング	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第4回	山田 耕太郎	SNSの利用と情報リテラシー	SNSを利用している人は多いと思いますが、どのようなことに注意して使っていますか。みなさんのSNSの利用方法や注意している点をアンケート調査やグループワークでまとめ、どのように改善すればより安全になるのかを検討します。	SNS、パスワード、個人情報、炎上、個人の特定、プライバシー、アンケート調査、テキストマイニング	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第5回	山田 耕太郎	情報セキュリティ	私たちはインターネットを通じて様々なサービスを利用していますが、知らないうちに情報が漏洩したりサイバー攻撃を受けたりするリスクを負っています。リスクを低減し被害に合わないための心構えや対策を学びます。	パスワード管理、情報漏洩、サイバーセキュリティ、サイバー攻撃、暗号、情報セキュリティの3要素（機密性、完全性、可用性）	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第6回	山田 耕太郎	生成AIの利用と留意事項	生成AIは非常に便利な存在ですが、生成された結果の取扱いには注意が必要です。特にレポートや論文を作成においては生成されたものをそのまま使うことはできません。どのような注意を払いながら活用していけば良いのかを、生成AIを使いながら体験的に学びます。	大規模言語モデル（LLM）、プロンプト、プロンプトエンジニアリング、ハルシネーション、フェイクニュース	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第7回	山田 耕太郎	社会で起きている変化とこれからの社会	前回の講義では生成AIについて学びましたが、現代は生成AIだけでなく様々なAIがデータを分析して課題を解決する社会になってきています。AIの利用によって社会で起きている変化と活用されているデータについて、事例とともにより広く学びます。	Society5.0、データ駆動型社会、第4次産業革命、データサイエンス、AI、IoT、ビッグデータ	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第8回	山田 耕太郎	社会で活用されているデータ	AIが私たちの生活を便利なものにしてくれているのは、ビッグデータと呼ばれる膨大なデータのおかげです。ではどのようなデータが利用されているのでしょうか。実際に社会で利用されているデータとその利用方法を学びます。	ビッグデータ、オープンデータ、ログデータ、構造化データ、非構造化データ、1次データ、2次データ、メタデータ	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第9回	山田 耕太郎	AIの仕組みとデータの利用技術	AIは何でもできて常に正確な答えを出してくれる訳ではありません。AIの仕組みを学び、AIが得意な分野と苦手な分野を理解します。そしてAIと人がより良く共存できる社会はどうあるべきかを考えます。	言語処理、画像認識、音声処理、機械学習、深層学習	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る

第10回	山田 耕 太郎	AIの活用 領域とそ の現場	社会で活用されているデータとその活用領域がAIによって広がり、食産業の分野においても様々な課題を解決するツールとなっていることを理解します。	生産、消費、文化活動、流通、製造、サービス、マーケティング、インフラ、ヘルスケア	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第11回	山田 耕 太郎	AI利活用の最新動向	AIの学習技術と推論能力の向上は目覚ましく、かなり複雑な問題にも対応できるようになっています。またテキストや画像、音声などの異なるデータを扱うマルチモーダル化も進んでいます。このような最新のAI利活用の動向を学習し、これからの生活にどう取り入れていくべきなのかを考えます。	強化学習、転移学習、レコメンデーション、AIエージェント、AIアシスタント、マルチモーダルAI	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第12回	山田 耕 太郎	データやAIの利活用における留意事項	Society5.0が目指す社会ではデータとAIが私たちの生活の質向上に大きく寄与しますが、決して良い面ばかりではありません。データの重要性が増す社会でデータとAIを利活用するための留意事項について学びます。	ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)、データ倫理、AI社会原則、データバイアス、悪意ある情報搾取	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第13回	山田 耕 太郎	生成AIを使った問題解決（課題の設定と分析）	食料問題、医療問題、少子高齢化、地球温暖化など、私たちの身の回りには様々な問題があります。ここではグループで身近な問題をひとつ採り上げ、生成AIを使いながら問題の分析と問題解決に向けた方向性を探ります。	問題解決、意思決定	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第14回	山田 耕 太郎	生成AIを使った問題解決（解決のための提案）	前回設定した問題について、生成AIを使いながら解決のための説得力ある提案を作成し、グループ発表を行います。	問題解決、意思決定	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
関連科目		情報処理基礎実習、情報処理統計学			
履修上の注意事項		授業を進めるにあたってChatGPTなどの生成系AIを使用したり、インターネット上の資料を参照することがあるが、レポートや提出課題、グループワークでの発表では生成AIの結果をそのまま書き写すだけになったり出典を示さないなどにならないようにすること。			
事前・事後学修の内容		事前にアップする授業資料を使って1時間程度の予習を行っておくこと。動画の視聴を求めることがあるので、授業が始まるまでに必ず視聴しておくこと。授業後は授業内容を振り返り、授業で学んだことと自らの情報機器の使い方を関連させて1時間程度の復習を行うこと。			
成績評価の方法		課題提出60%、グループワークの取り組みと発表20%、小テストの結果20%の割合で評価する。			
教科書		なし			
参考書		『AIデータサイエンスリテラシー入門』吉岡剛志 他著（技術評論社） 『教養としてのデータサイエンス』北川 源四郎 他著（講談社）			
教材		授業に必要な資料はPDF形式でTeamsにアップするので、自分のPC等にダウンロードし、必要に応じて印刷しておくこと。			



シラバス参照

講義名	情報リテラシー論		
(副題)			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部保健栄養学科 保健養護専攻		
開講学年	1年		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2時限
必須/選択	必修		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 緒方 裕光	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）

- ・養護教諭として、情報社会において必要とされる倫理感・使命感・社会的責任を身につける。
- ・養護教諭として、インターネットの利用に不可欠な基本的な知識と技術を修得する。
- ・コンピュータやインターネットを用いた自分の行動に責任をもてる。
- ・コンピュータ、OS、インターネット、情報セキュリティなどの用語や仕組みを説明できる。
- ・「知識・理解」、「汎用的能力と専門的技術・実践力」、「倫理観・使命感・社会的責任」と関連する。
- ・本授業の達成目標は、DP1-2、DP2-1のいずれとも強く関連する。

授業の概要

養護教諭として情報社会に求められる情報リテラシーについて、狭義の情報リテラシーとして、①情報機器に関する操作技術、②データサイエンスに関する基本的知識について学ぶ。さらに、広義の情報リテラシーとして、③情報の収集から活用までの知識と考え方、④情報社会における倫理観やセキュリティなどを学ぶ。

授業形式

主にパワーポイントを用いた講義形式によって行う。必要に応じてiPad（パソコン）を用いて簡単な計算を行う。また、毎回の授業内で小テストを実施し解答終了後に解説を行う。配布資料はPDF形式でTeamsにアップするので、授業開始前に自分のタブレットにダウンロードしておくこと。授業内で行う小テストはFormsを通じて行う。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考	予習・復習
第1回	緒方 裕光	情報リテラシーとは何か	情報化社会の歴史、情報化社会の利点と問題	情報、データサイエンス、AI、セキュリティ	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第2回	緒方 裕光	インターネットの利用	インターネットの歴史と課題、インターネットの仕組みと活用	インターネット、情報システム	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第3回	緒方 裕光	情報倫理とセキュリティ	情報社会における倫理と責任	情報セキュリティ、著作権、情報倫理	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第4回	緒方 裕光	メディアリテラシー	メディアリテラシーの基本的視点	クリティカルシンキング、ソーシャルメディア、情報の信憑性	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習

第5回	緒方 裕 光	コンピュータの活用	コンピュータの仕組みと機能	情報システム、ハードウェア、ソフトウェア	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第6回	緒方 裕 光	情報の検索	情報の検索と収集、抽出	データベース、情報の形態、収集方法	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第7回	緒方 裕 光	情報処理 (1)	情報の表現	データの可視化、グラフ表現、集計表	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第8回	緒方 裕 光	情報処理 (2)	情報解析の基礎	エクセル計算、エクセル関数、データ分析	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第9回	緒方 裕 光	情報処理 (3)	統計解析を中心とした情報処理	統計学、記述統計、推測統計	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第10回	緒方 裕 光	AIとデータサイエンス	AIの定義、歴史、仕組み、活用、データサイエンスとの関係	AI、データサイエンス、ビッグデータ	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第11回	緒方 裕 光	情報リテラシーの活用 (1)	レポートの作成と編集	レポートの構成、構造化、目的、表現方法、ICTの活用と倫理	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第12回	緒方 裕 光	情報リテラシーの活用 (2)	プレゼンテーションの方法	パワーポイント、視覚化、グラフ表示、ICTの活用と倫理	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第13回	緒方 裕 光	情報リテラシーの活用 (3)	モデリング、シミュレーションなどの方法	モデル化、モデルの活用、将来予測	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第14回	緒方 裕 光	ICT活用による問題解決	問題解決におけるICTの役割と意義	問題解決の手順、情報の評価、情報発信、モデルやシミュレーションの活用	予習：当該授業内容をシラバスで確認、復習：小テストの内容の確認・復習
第15回	緒方 裕 光	定期試験			

関連科目	情報処理統計学
履修上の注意事項	配布資料はPDF形式でTeamsにアップするので、授業が始まるまでに自分のタブレットのノートアプリ（Goodnotes）にダウンロードしておくこと。
事前・事後学修の内容	当該授業内容を事前にシラバスで確認しておくこと。また、小テストの内容について講義終了後に復習すること。さらに、特に関心を持った内容は自らの文献・資料収集を通して理解を深めること。予習・復習は週に60分以上行うこと。
成績評価の方法	定期試験結果80%、毎回の授業で行う小テストの結果20%により総合的に評価する。
定期試験準備	配布資料および各回に行う小テストを中心に復習すること。
教科書	なし
参考書	なし
教材	必要に応じて資料を配布する。

[ウインドウを閉じる](#)



シラバス参照

講義名	情報リテラシー論		
(副題)			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部 食文化栄養学科		
開講学年	1年		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1時限
必須/選択	必修		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（必修）		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 山田 耕太郎	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）	現代社会はAI（人工知能）によって大きな変化が起きていることを理解し、説明できるようになる。AIやデータサイエンスで得られた情報を正しく理解し、使いこなすための情報リテラシーを身に付ける。これらの達成目標はDP4、DP6と関連する。
授業の概要	AI（人工知能）が膨大なデータを効率よく処理して新たな知見や価値ある情報を生み出し、それを課題解決や意思決定に活かせる社会になっています。しかし新たに生み出された情報の価値を見極めるのはヒトの役割であるため、AIが活躍する社会において情報と正しく向き合うための「情報リテラシー」の重要性はますます高まっています。この授業では現代社会に無くてはならないAIと情報の価値を見極めるデータサイエンスを学びながら情報リテラシーを身に付け、使えるようにします。学修を進めるにあたってインターネット上の資料や動画、サービスを使うことがありますが、発信の際には個人情報や他人の人権には十分な配慮をしてください。またレポート作成や資料収集の際には著作権に注意し、盗用等が無いようにしてください。これらの配慮や注意点については授業でも説明します。なお、この授業は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」のモデルカリキュラムに準拠しています。
授業形式	主として講義形式で行うが、理解を深めるためにPCやタブレットを用いた演習、グループワーク、動画の視聴などを適宜交えながら授業を進める。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考	予習・復習
第1回	山田 耕太郎	情報リテラシーを学ぶ意義と目的	現在はスマートフォンひとつで簡単に情報を得ることができる一方で、その真偽を見抜くことが難しくなっています。AIの発達ですますその傾向が強くなる社会で正しく情報と向き合うために必要な「情報リテラシー」を学ぶ意義と目的を理解します。	データと情報、データサイエンス、AI（人工知能）、データ思考	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第2回	山田 耕太郎	データサイエンスとAI	データサイエンスとはデータから新たな知見や価値を引き出すために必要な学問領域で、AIの発展と密接な関係があります。みなさんが学ぶ栄養学がデータサイエンスとどのように関係しているのかを学びます。	データ思考、栄養学、食事記録、栄養計算、食事摂取基準	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る

第3回	山田 耕太郎	データの読み解き方	栄養データや気象データ、アンケートデータ、社会調査データなど、日々たくさんのデータが扱われ、その結果はグラフや報告書などにまとめられます。それらのデータをどのように読み解くのかを事例とともに学びます。	栄養データ、気象データ、アンケートデータ、社会調査データ、データの可視化、散布図と回帰、予測、クラスタリング	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第4回	山田 耕太郎	SNSの利用と情報リテラシー	SNSを利用している人は多いと思いますが、どのようなことに注意して使っていますか。みなさんのSNSの利用方法や注意している点をアンケート調査やグループワークでまとめ、どのように改善すればより安全になるのかを検討します。	SNS、パスワード、個人情報、炎上、個人の特定、プライバシー、アンケート調査、テキストマイニング	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第5回	山田 耕太郎	情報セキュリティ	私たちはインターネットを通じて様々なサービスを利用していますが、知らないうちに情報が漏洩したりサイバー攻撃を受けたりするリスクを負っています。リスクを低減し被害に合わないための心構えや対策を学びます。	パスワード管理、情報漏洩、サイバーセキュリティ、サイバー攻撃、暗号、情報セキュリティの3要素（機密性、完全性、可用性）	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第6回	山田 耕太郎	生成AIの利用と留意事項	生成AIは非常に便利な存在ですが、生成された結果の取扱いには注意が必要です。特にレポートや論文を作成においては生成されたものをそのまま使うことはできません。どのような注意を払いながら活用していけば良いのかを、生成AIを使いながら体験的に学びます。	大規模言語モデル（LLM）、プロンプト、プロンプトエンジニアリング、ハルシネーション、フェイクニュース	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第7回	山田 耕太郎	社会で起きている変化とこれからの社会	前回の講義では生成AIについて学びましたが、現代は生成AIだけでなく様々なAIがデータを分析して課題を解決する社会になってきています。AIの利用によって社会で起きている変化と活用されているデータについて、事例とともにより広く学びます。	Society5.0、データ駆動型社会、第4次産業革命、データサイエンス、AI、IoT、ビッグデータ	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第8回	山田 耕太郎	社会で活用されているデータ	AIが私たちの生活を便利なものにして给我们のは、ビッグデータと呼ばれる膨大なデータのおかげです。ではどのようなデータが利用されているのでしょうか。実際に社会で利用されているデータとその利用方法を学びます。	ビッグデータ、オープンデータ、ログデータ、構造化データ、非構造化データ、1次データ、2次データ、メタデータ	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第9回	山田 耕太郎	AIの仕組みとデータの利用技術	AIは何でもできて常に正確な答えを出してくれる訳ではありません。AIの仕組みを学び、AIが得意な分野と苦手な分野を理解します。そしてAIと人がより良く共存できる社会はどうあるべきかを考えます。	言語処理、画像認識、音声処理、機械学習、深層学習	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第10回	山田 耕太郎	AIの活用領域とその現場	社会で活用されているデータとその活用領域がAIによって広がり、食産業の分野においても様々な課題を解決するツールとなっていることを理解します。	生産、消費、文化活動、流通、製造、サービス、マーケティング、インフラ、ヘルスケア	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る

第11回	山田 耕太郎	AI利活用の最新動向	AIの学習技術と推論能力の向上は目覚ましく、かなり複雑な問題にも対応できるようになっています。またテキストや画像、音声などの異なるデータを扱うマルチモーダル化も進んでいます。このような最新のAI利活用の動向を学習し、これからの生活にどう取り入れていくべきなのかを考えます。	強化学習、転移学習、レコメンデーション、AIエージェント、AIアシスタント、マルチモーダルAI	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第12回	山田 耕太郎	データやAIの利活用における留意事項	Society5.0が目指す社会ではデータとAIが私たちの生活の質向上に大きく寄与しますが、決して良い面ばかりではありません。データの重要性が増す社会でデータとAIを利活用するための留意事項について学びます。	ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)、データ倫理、AI社会原則、データバイアス、悪意ある情報搾取	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第13回	山田 耕太郎	生成AIを使った問題解決（課題の設定と分析）	食料問題、医療問題、少子高齢化、地球温暖化など、私たちの身の回りには様々な問題があります。ここではグループで身近な問題をひとつ採り上げ、生成AIを使いながら問題の分析と問題解決に向けた方向性を探ります。	問題解決、意思決定	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
第14回	山田 耕太郎	生成AIを使った問題解決（解決のための提案）	前回設定した問題について、生成AIを使いながら解決のための説得力ある提案を作成し、グループ発表を行います。	問題解決、意思決定	予習：授業前に資料に目を通し、分からない用語等は事前に意味を調べておく 復習：授業資料やその日のノート、メモ等を基に授業を振り返り、知識の定着を図る
関連科目		情報処理基礎実習、情報処理統計学			
履修上の注意事項		授業を進めるにあたってChatGPTなどの生成系AIを使用したり、インターネット上の資料を参照することがあるが、レポートや提出課題、グループワークでの発表では生成AIの結果をそのまま書き写すだけになったり出典を示さないなどにならないようにすること。			
事前・事後学修の内容		事前にアップする授業資料を使って1時間程度の予習を行っておくこと。動画の視聴を求めることがあるので、授業が始まるまでに必ず視聴しておくこと。授業後は授業内容を振り返り、授業で学んだことと自らの情報機器の使い方を関連させて1時間程度の復習を行うこと。			
成績評価の方法		課題提出60%、グループワークの取り組みと発表20%、小テストの結果20%の割合で評価する。			
教科書		なし			
参考書		『AIデータサイエンスリテラシー入門』吉岡剛志 他著（技術評論社） 『教養としてのデータサイエンス』北川 源四郎 他著（講談社）			
教材		授業に必要な資料はPDF形式でTeamsにアップするので、自分のPC等にダウンロードし、必要に応じて印刷しておくこと。			



シラバス検索

検索条件設定 (特に明記のない限り、テキスト項目は中間一致検索)

開講年度

2025

▼

講義コード

講義名称

情報処理基礎実習

講義副題

学則科目名称

講義開講時期

選択なし

▼

 ~

選択なし

▼

曜日

選択なし

▼

時限

選択なし

▼

講義区分

選択なし

▼

担当教員

開講責任部署

選択なし

▼

開講学年

選択なし

▼

必須/選択

科目分類

キーワード

以上の条件で検索

該当件数 6件 (1-6件目を表示)

<前ページ 1 次ページ>										
	開講責任部署	学年	講義コード	講義名称	講義副題	講義開講時期	講義区分	担当教員	必須/選択	科目分類
選択	女子栄養大学栄養学部 食文化栄養学科	1年	c15054000	情報処理基礎実習		前期	実験・実習	藤倉 純子	選択	栄養学部共通導入科目・入門科目 (選択)
選択	女子栄養大学栄養学部保健栄養学科 栄養イノベーション専攻	1年	e14045000	情報処理基礎実習		前期	実験・実習	山田 耕太郎	選択	栄養学部共通導入科目・入門科目 (選択)
選択	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科	1年	a14044001	情報処理基礎実習 (A)		後期	実験・実習	藤倉 純子	選択	栄養学部共通導入科目・入門科目 (選択)
選択	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科	1年	a14044002	情報処理基礎実習 (B)		後期	実験・実習	山田 耕太郎	選択	栄養学部共通導入科目・入門科目 (選択)
選択	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科	1年	a14044003	情報処理基礎実習 (C)		後期	実験・実習	藤倉 純子	選択	栄養学部共通導入科目・入門科目 (選択)
選択	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科	1年	a14044004	情報処理基礎実習 (D)		後期	実験・実習	山田 耕太郎	選択	栄養学部共通導入科目・入門科目 (選択)
<前ページ 1 次ページ>										

※保健栄養学科保健養護専攻は、2学年で開講のため、2025年度は開講なし



シラバス参照

講義名	情報処理基礎実習（A）		
（副題）			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部 実践栄養学科		
開講学年	1年		
講義開講時期	後期	講義区分	実験・実習
基準単位数	1	時間	0.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3 時限
必須/選択	選択		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（選択）		
資格必須 1	教職（栄養教諭）必修		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 藤倉 純子	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）	栄養・保健・食情報の処理・表現・伝達など栄養学士に必要な情報処理・コンピュータの有効活用ができる。本授業の達成目標は、DP4（汎用的能力と専門的技術・実践力）、DP7（総合力と生涯学習力）と関連している。
授業の概要	レポート作成のためのワープロ・情報収集、データの加工・集計のための表計算ソフト、口頭発表のためのパワーポイント等、操作スキルとともに、その活用能力も身につける。特定の食材を使った1日の献立を提案し、栄養計算ソフトを使用し、栄養評価を行い、レポート形式にまとめる。また、特定の食物について調べ（食品科学的な面、食文化的な面、食糧需給の面、流通の面、栄養素面、歴史、生産地、料理、ことわざ、各種トレビアなど）インターネット上や文献で情報収集を行いパワーポイントにまとめ、発表を行う。コンピュータ会社でのシステム開発経験等を事例に説明を行う。
授業形式	コンピュータ実習室にて、課題に関する内容、操作方法の説明後、各自、課題を完成させる。プレゼンテーション課題は、全員、教卓にて発表を行い、互いに評価を行う。出席・欠席届はForms、Teamsを使用。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考
第1回	藤倉 純子	コンピュータの基本操作	パソコンの基礎知識と基本操作の確認を行う。	ウィンドウ&マウス&アイコン&クリック&ダブルクリック&ドラッグ&タッチタイピング
第2回	藤倉 純子	日本語ワードプロセッサの基本	ワープロの基本操作、文書作成・保存を行う。	日本語入力&文のデザイン&ファイルの保存&段組&目次
第3回	藤倉 純子	日本語ワードプロセッサの活用・表	見だしを活用し、目次の作成、表の作成と罫線操作を習得する。	表&罫線操作&色&ルーラー&インデント&拡張書式&段落設定&行幅&インデント&ルーラー&均等割付&縦書き&横書き&左・中央・右揃え&見出し&ページ&目次&ヘッダー&フッター
第4回	藤倉 純子	日本語ワードプロセッサの活用・リーフレット	ワードアート、図形描画機能を活用してリーフレットを作成する。	ワードアート&図形描画&SmartArt&ページ設定&余白&用紙サイズ&フォントの書式&オートシェイプ&テキストボックス&記号と特殊文字&リーフレット
第5回	藤倉 純子	表計算ソフトの基本操	表計算ソフトの基本操作を行う。	シートの追加・削除・名前の変更&ブック&ワークシート

		作		
第6回	藤倉 純子	表計算ソフトの基本	例題により表計算ソフトの基本機能（操作、式、関数、セル番地等）を理解する。	数式バー&セル番地&絶対参照&相対参照&式&関数&列記号&行番号
第7回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・論理関数	論理関数など各種関数を用いて肥満判定や血圧区分について計算する。	桁揃え&BMI&体脂肪・肥満度の計算&数学・三角関数（ROUND）&論理関数&条件判断（IF、AND）
第8回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・検索関数	検索関数（INDEX）を用いて、肥満判定を行う。	検索関数（INDEX）&セルの書式設定&表示形式&罫線&シートの挿入・コピー・移動
第9回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・関数（検索/行列関数）	検索/行列関数を用いて、データの検索、栄養計算を行う。	検索/行列関数（VLOOKUP、HLOOKUP）
第10回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・グラフ	いろいろな種類のグラフを作成する。	グラフウィザード&グラフ（棒・折れ線・散布図・複合グラフ）&計算式&セルの複写（コピー）&ペースト&グラフウィザード&グラフ（棒・折れ線・散布図）
第11回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・関数（統計関数）	基本統計量を求める（平均・最大・最小・標準偏差・範囲・変動係数）	串刺し&統合&集計&基本統計（平均・最大・最小・標準偏差・範囲・変動係数）
第12回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・集計（データベース機能）	健康診断のデータを用いて、データ抽出、条件検索、並び替えなどの操作を身につける。	並び替え&オートフィルタ&昇順&降順
第13回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの基本	複数の栄養計算ソフトを用いて1日分の食事記録の栄養計算を行い、2つのソフトを比較する。	事摂取基準&エネルギー産生栄養素バランス（PFC比）&食品数&香川式四群点数法&食事記録&身体活動レベル&食品成分表&献立&料理&調味パーセント&CSVファイル&PDFファイル&バックアップ&リストア&目安量&目測
第14回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの活用（食事記録）	栄養計算ソフトで実践栄養学実習で記録した3日間の食事記録の計算。	食事摂取基準&エネルギー産生栄養素バランス（PFC比）&食品数&香川式四群点数法&食事記録&身体活動レベル&食品成分表&献立&料理&調味パーセント
第15回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの活用（食事記録）	3日間の食事記録の評価、データのバックアップ	CSVファイル&PDFファイル&バックアップ&リストア&目安量&目測
第16回	藤倉 純子	インターネット上の情報収集	インターネット検索による情報収集の方法を学び、課題についての情報を収集する。自分の座席のニックネーム（食品）を活用した1日分の献立作成。	インターネット検索方法&キーワード&文献検索の方法（図書館システム）&参考文献の書き方&画像コピー&加工方法&栄養計算&インターネット&WWW&URL、検索エンジン&ネットブック&著作権
第17回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの活用	自分の座席のニックネーム（食品）を活用した1日分の献立について、学んだ栄養計算ソフトを使って、栄養価計算を行う。	身体活動レベル&食事摂取基準&食品成分表&献立&料理&食品&栄養バランス（レーダーチャート・棒グラフ）&エネルギー産生栄養素バランス（PFC比）
第18回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの活用・評価	献立評価をWordに転記、データの保存、PDF処理	栄養評価&入力&画面&結果出力&食品群&CSVファイル&PDFファイル&バックアップ&リストア&目安量&目測
第19回	藤倉 純子	プレゼンテーションソフトの基本	プレゼンテーションの基本について、基本操作の理解。課題についての情報収集。	基本操作&デザインテンプレート&文字の大きさ&色&配置&図表の活用&加工&箇条書き&アニメーション&ノート
第20回	藤倉 純子	プレゼンテーションソフトの活用	課題についてプレゼンテーション媒体を作成する。自分の座席のニックネーム（食品）のプレゼンテーションスライド作成。	スライド印刷&スライドレイアウト&テキストボックス&ワードアート&アウトライン表示&スライダー一覧表示&スライドショー
第21回	藤倉 純子	プレゼンテーションソフトによる発表	完成したプレゼンテーション媒体を全員が発表し評価する。スライドショーによる発表（120秒/1人）	スライドショー
第22回	藤倉 純子	プレゼンテーションソフトによる発表・評価	プレゼンの評価（発表方法・スライド・内容）、formsへの評価登録。	forms評価

関連科目	栄養アセスメント基礎実習、疫学・生物統計学、健康情報処理・活用実習
履修上の注意事項	コンピュータ室で行う。コンピュータ室の利用上の注意をよく守ること。コンピュータ室の使い方、コンピュータの使い方、各ソフトの操作方法等、わからないことや課題案をメモできるように「ノート」を作成すること。
事前・事後学修の内容	高校までで学ぶ統計の基礎（関連するグラフの種類を含めて）を復習しておくこと。新聞、雑誌、本、Web等から食文化・栄養・健康等の関連事項について目を通し、いろいろな情報に関心を持っておくこと。体調不良により授業を休んだ場合は、その回の内容を次回までに終わらせておくこと。また、課題が授業内に終わることができなかった場合は、最終提出日までに完成させておくこと。
成績評価の方法	サーバー提出の授業内課題80%、実習への参加態度10%、プレゼンテーション媒体発表10%により評価する。
教科書	【電子版】藤倉純子編:健康・医療・栄養のためのExcelワーク（アイ・ケイ・コーポレーション, 東京, 2025）
参考書	2021できるExcel 2021 Office 2021 & Microsoft 365両対応（インプレス）, できるWord 2021 Office2021 & Microsoft 365両対応（インプレス）, できるPowerPoint 2021 Office 2021 & Microsoft 365両対応（インプレス）
教材	ホームページ、パワーポイントで提示する。また、Teams上にも、本時の授業内容を提示する。

[ウインドウを閉じる](#)



シラバス参照

講義名	情報処理基礎実習		
(副題)			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部保健栄養学科 栄養イノベーション専攻		
開講学年	1年		
講義開講時期	前期	講義区分	実験・実習
基準単位数	1	時間	0.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1 時限
必須/選択	選択		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（選択）		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 山田 耕太郎	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）

食と健康に関する課題をコンピュータを活用しながら把握・分析し、論理的思考に基づいて問題解決することができる。本授業の達成目標はDP3（汎用的能力と専門的技術・実践力）と関連している。

授業の概要

レポート作成のためのワープロ・情報収集、データの加工・集計のための表計算ソフト、口頭発表のためのパワーポイント等、操作スキルとともに、その活用能力も身につける。特定の食材を使った1日の献立を提案し、栄養計算ソフトを使用し、栄養評価を行い、レポート形式にまとめる。また、特定の食物について調べ（食品科学的な面、食文化的な面、食糧需給の面、流通の面、栄養素面、歴史、生産地、料理、ことわざ、各種トリビアなど）インターネット上や文献で情報収集を行いパワーポイントにまとめ、発表を行う。

授業形式

コンピュータ実習室にて課題に関する内容、操作方法の説明後、各自課題を完成させる。プレゼンテーション課題は全員、教卓にて発表を行い、互いに評価を行う。出席・欠席届はForms、Teamsを使用。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考
第1回	山田 耕太郎	コンピュータの基本操作	パソコンの基礎知識と基本操作の確認を行う。	ウインドウ、マウス、アイコン、クリックと、ブルックリッ、ドラッグ、タッチタイピング
第2回	山田 耕太郎	日本語ワープロソフト（Word）の基本	日本語ワープロソフト（Word）の基本操作、文書作成・保存を行う。	日本語入力、全角、半角、文のデザイン、段組、ファイルの保存
第3回	山田 耕太郎	日本語ワープロソフトの活用・表	見出しを活用し、目次の作成、表の作成と罫線操作を習得する。	表、罫線操作、インデント、ルーラー、書式設定、均等割付、左・中央・右揃え、ヘッダー、フッター
第4回	山田 耕太郎	日本語ワープロソフトの活用・リーフレット	ワードアート、図形描画操作を活用してリーフレットを作成する。	ワードアート、図形描画、SmartArt、ページ設定、余白、用紙サイズ、フォントの書式、オートシェイプ、テキストボックス、記号と特殊文字
第5回	山田 耕太郎	表計算ソフト（Excel）の基本	表計算ソフトの基本操作を行う。例題をExcelで処理しながら基本機能（式、関数、セル番地等）を理解する。	シートの追加・削除・名前の変更、ブック、ワークシート、数式バー、セル番地、絶対参照、相対参照、複合参照、関数
第6回	山田 耕太郎	同上	同上	同上

第7回	山田 耕 太郎	表計算ソフトの活用・関数（論理関数）	論理関数など各種関数を用いて肥満判定や血圧区分について計算する。	BMI・体脂肪・肥満度の計算、四捨五入（ROUND）、論理関数（IF, AND, OR）
第8回	山田 耕 太郎	表計算ソフトの活用・関数（統計関数）	基本統計量を求める（平均・最大・最小・標準偏差・中央値・レンジ・変動係数）	基本統計量（平均・最大・最小・標準偏差・中央値・レンジ・変動係数）
第9回	山田 耕 太郎	表計算ソフトの活用・関数（検索／行列関数）	検索／行列関数を用いた肥満判定や食事摂取基準のデータ検索を行う。	検索／行列関数（INDEX, VLOOKUP, HLOOKUP）
第10回	山田 耕 太郎	表計算ソフトの活用・グラフ	いろいろな種類のグラフを作成する。	グラフ（棒・折れ線・散布図・複合グラフ）データ系列の書式設定、表のコピー＆ペースト、グラフウィザード
第11回	山田 耕 太郎	表計算ソフトの活用・集計（データベース機能）	健康診断のデータを用いて、データ抽出、条件検索、並べ替えなどの操作を身につける。	ソート（並べ替え）、オートフィルタ、昇順、降順
第12回	山田 耕 太郎	表計算ソフトの活用・集計（ピボットテーブル）	ピボットテーブルを使った集計処理を行う。	ピボットテーブル、フィールド・単純集計・クロス集計
第13回	山田 耕 太郎	栄養計算ソフトの基本	栄養計算ソフトを使って1日分の食事記録の栄養計算を行い、データを読み解いて結果を説明する。	食事摂取基準、食品成分表、香川式四群点数法、身体活動レベル、栄養バランスの可視化、エネルギー産生栄養素バランス（PFC比）
第14回	山田 耕 太郎	同上	同上	同上
第15回	山田 耕 太郎	インターネット上の情報収集	インターネット検索による情報収集の方法を学び、自分の座席のニックネーム（食品）に関する情報収集と1日分の献立作成を行う。	インターネット検索、キーワード検索、文献検索、参考文献の書き方、著作権、ネットリテラシー、画像コピー、画像加工
第16回	山田 耕 太郎	同上	同上	同上
第17回	山田 耕 太郎	栄養計算ソフトの活用	自分の座席のニックネーム（食品）を活用した1日分の献立について、栄養計算ソフトによる栄養価計算を行う。	基本操作&デザインテンプレート&文字の大きさ&色&配置&図表の活用&加工&箇条書き&アニメーション&ノー食事摂取基準、食品成分表、香川式四群点数法、身体活動レベル、栄養バランスの可視化、エネルギー産生栄養素バランス（PFC比）
第18回	山田 耕 太郎	日本語ワープロソフトの活用・レポート作成	献立と栄養価評価をWordにレポート形式でまとめる。	見出し、目次、表、画像コピー、画像加工
第19回	山田 耕 太郎	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の基本	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の基本操作の理解。課題についての情報収集。	デザインテンプレート、情報のデザイン、図表の活用、アニメーション、スライドショー
第20回	山田 耕 太郎	プレゼンテーションソフトの活用	課題についてプレゼンテーション媒体を作成する。自分の座席のニックネーム（食品）のプレゼンテーションスライド作成。	スライドの印刷、印刷レイアウト（ノート）、発表原稿印刷、スライダー表示、スライドショー
第21回	山田 耕 太郎	プレゼンテーションソフトによる発表	完成したプレゼンテーション媒体を全員が発表し評価する。スライドショーによる発表（120秒/1人）	プレゼンテーション、スライドショー
第22回	山田 耕 太郎	プレゼンテーションソフトによる発表・評価	プレゼンの評価（発表方法・スライド・内容）、formsへの評価登録	forms評価

関連科目	情報処理統計学、疫学・生物統計学
履修上の注意事項	コンピュータ室で行う。コンピュータ室の利用上の注意をよく守ること。コンピュータ室の使い方、コンピュータの使い方、各ソフトの操作方法等、わからないことや課題案をメモできるように「ノート」を作成すること。
事前・事後学修の内容	高校までで学ぶ統計の基礎（関連するグラフの種類を含めて）を復習をしておくこと。新聞、雑誌、本、Web等から食文化・栄養・健康等の関連事項について目を通し、いろいろな情報に関心を持っておくこと。体調不良により授業を休んだ場合は、その回の内容を次回までに終わらせておくこと。また、課題が授業内に終わることができなかった場合は、最終提出日までに完成させておくこと。

成績評価の方法	サーバー提出の授業内課題80%、実習への参加態度10%、プレゼンテーション媒体発表10%により評価する。
教科書	【電子版】藤倉純子編:健康・医療・栄養のためのExcelワーク（アイ・ケイ・コーポレーション, 東京, 2025）
参考書	『できるExcel2016 Windows10/8.1/7対応』（インプレス） 『できるWord2016 Windows10/8.1/7対応』（インプレス） 『できるPowerPoint2016 Windows10/8.1/7 対応』（インプレス）
教材	ホームページ、パワーポイントで呈示する。また、Tamas上にも、本時の授業内容を提示する。

[ウインドウを閉じる](#)



シラバス参照

講義名	情報処理基礎実習		
(副題)			
開講責任部署	女子栄養大学栄養学部 食文化栄養学科		
開講学年	1年		
講義開講時期	前期	講義区分	実験・実習
基準単位数	1	時間	0.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3時限
必須/選択	選択		
科目分類	栄養学部共通導入科目・入門科目（選択）		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 藤倉 純子	

授業の達成目標（ディプロマ・ポリシーとの関連も記載）	栄養・保健・食情報の処理・表現・伝達など栄養学士に必要な情報処理・コンピュータの有効活用ができる。本授業の達成目標はDP4（食情報発信・食育技術力）と関連している。
授業の概要	レポート作成のためのワープロ・情報収集、データの加工・集計のための表計算ソフト、口頭発表のためのパワーポイント等、操作スキルとともに、その活用能力も身につける。特定の食材を使った1日の献立を提案し、栄養計算ソフトを使用し、栄養評価を行い、レポート形式にまとめる。また、特定の食物について調べ（食品科学的な面、食文化的な面、食糧需給の面、流通の面、栄養素面、歴史、生産地、料理、ことわざ、各種トレビアなど）インターネット上や文献で情報収集を行いパワーポイントにまとめ、発表を行う。コンピュータ会社でのシステム開発経験等を事例に説明を行う。
授業形式	コンピュータ実習室にて、課題に関する内容、操作方法の説明後、各自、課題を完成させる。プレゼンテーション課題は、全員、教卓にて発表を行い、互いに評価を行う。出席・欠席届はForms、Teamsを使用。
授業計画表	

回	担当教員	項目	内容	キーワード・備考
第1回	藤倉 純子	コンピュータの基本操作	パソコンの基礎知識と基本操作の確認を行う。	ウィンドウ&マウス&アイコン&クリック&ダブルクリック&ドラッグ&タッチタイピング
第2回	藤倉 純子	日本語ワードプロセッサの基本	ワープロの基本操作、文書作成・保存を行う。	日本語入力&文のデザイン&ファイルの保存&段組
第3回	藤倉 純子	日本語ワードプロセッサの活用・表	見だしを活用し、目次の作成、表の作成と罫線操作を習得する。	表&罫線操作&色&ルーラー&インデント&拡張書式&段落設定&行幅&インデント&ルーラー&均等割付&縦書き&横書き&左・中央・右揃え&見出し&ページ&目次&ヘッダー&フッター
第4回	藤倉 純子	日本語ワードプロセッサの活用・リーフレット・ポスター作成	ワードアート、図形描画機能を活用してフレッシュマンイベントにおいて、フードパウチャーで購入したものについて、宣伝ポスターを作製する（記録してきた商品名、価格、選択理由、お勧めポイント、キャッチコピー、写真使用）。	ワードアート&図形描画&SmartArt&ページ設定&余白&用紙サイズ&フォントの書式&オートシェイプ&テキストボックス&記号と特殊文字&リーフレット
第5回	藤倉 純子	表計算ソフトの基本	表計算ソフトの基本操作を行う。例題により表計算ソフトの基本機能（操作、式、関数、セル番地等）を理解する。	シートの追加・削除・名前の変更&ブック&ワークシート&数式バー&セル番地&絶対参照&相対参照&式&関数&列記号&行番号

第6回	藤倉 純子	同上	同上	
第7回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・関数	論理関数など各種関数を用いて肥満判定や血圧区分について計算する。	桁揃え&BMI&体脂肪・肥満度の計算&数学・三角関数 (ROUND) &論理関数&条件判断 (IF, AND) &検索/行列関数 (INDEX) &セルの書式設定&表示形式&罫線&シートの挿入・コピー・移動
第8回	藤倉 純子	同上	同上	
第9回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・関数 (検索/行列関数)	検索/行列関数を用いて、データの検索、栄養計算を行う。	検索/行列関数 (VLOOKUP, HLOOKUP)
第10回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・グラフ	いろいろな種類のグラフを作成する。	グラフウィザード&グラフ (棒・折れ線・散布図・複合グラフ) &計算式&セルの複写 (コピー) &ペースト &グラフウィザード&グラフ (棒・折れ線・散布図)
第11回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・集計 (データベース機能)	健康診断のデータを用いて、データ抽出、条件検索、並び替えなどの操作を身につける。	並び替え&オートフィルタ&昇順&降順
第12回	藤倉 純子	表計算ソフトの活用・集計 (ピボットテーブル)	ピボットテーブルを使った集計処理を行う。	ピボットテーブル&条件式
第13回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの基本	栄養計算ソフトを用いて1日分のモデル献立の栄養計算を行う。	食事摂取基準&エネルギー産生栄養素バランス (PFC比) &食品数&香川式四群点数法&食事記録&身体活動レベル&食品成分表&献立&料理&調味パーセント&CSVファイル&PDFファイル&バックアップ&リストア
第14回	藤倉 純子	同上	同上	
第15回	藤倉 純子	インターネット上の情報収集	インターネット検索による情報収集の方法を学び、課題についての情報を収集する。自分の座席のニックネーム (食品) を活用した1日分の献立作成。	インターネット検索方法&キーワード&文献検索の方法 (図書館システム) &参考文献の書き方&画像コピー&加工方法&栄養計算&インターネット&WWW&URL, 検索エンジン&ネチケット&著作権
第16回	藤倉 純子	同上	同上	
第17回	藤倉 純子	栄養計算ソフトの活用	自分の座席のニックネーム (食品) を活用した1日分の献立について、栄養計算ソフト (クラウド版栄養Pro) を使って、栄養価計算を行い、第3回で作成したワープロの表に転記し、献立評価を行う。	食事摂取基準&エネルギー産生栄養素バランス (PFC比) &食品数&香川式四群点数法&食事記録&身体活動レベル&食品成分表&献立&料理&調味パーセント&CSVファイル&PDFファイル&バックアップ&リストア
第18回	藤倉 純子	同上	同上	
第19回	藤倉 純子	プレゼンテーションソフトの活用	課題についてプレゼンテーション媒体を作成する。自分の座席のニックネーム (食品) のプレゼンテーションスライド作成。	基本操作&デザインテンプレート&文字の大きさ&色&配置&図表の活用&加工&箇条書き&アニメーション&ノート&スライド印刷&スライドレイアウト&テキストボックス&ワードアート&アウトライン表示&スライダー表示&スライドショー
第20回	藤倉 純子	同上	同上	
第21回	藤倉 純子	プレゼンテーションソフトによる発表・評価	完成したプレゼンテーション媒体を全員が発表し評価する。スライドショーによる発表 (120秒/1人), プレゼンの評価 (発表方法・スライド・内容), formsへの評価登録。	スライドショー&forms評価
第22回	藤倉 純子	同上	同上	

関連科目	初年次教育演習、食文化栄養学総論I、栄養食文化統計学実習、Webプログラミング実習、料理データベース論実習
履修上の注意事項	コンピュータ室で行う。コンピュータ室の利用上の注意をよく守ること。コンピュータ室の使い方、コンピュータの使い方、各ソフトの操作方法等、わからないことや課題案をメモできるようにタブレット (GoodNotesなど) を活用すること。

事前・事後学修の内容	高校までで学ぶ統計の基礎（関連するグラフの種類を含めて）を復習しておくこと。新聞、雑誌、本、Web等から食文化・栄養・健康等の関連事項について目を通し、いろいろな情報に関心を持っておくこと。体調不良により授業を休んだ場合は、その回の内容を次回までに終わらせておくこと。また、課題が授業内に終わることができなかった場合は、最終提出日までに完成させておくこと。
成績評価の方法	サーバー提出の授業内課題80%、実習への参加態度10%、プレゼンテーション媒体発表10%により評価する。
教科書	【電子版】藤倉純子編：健康・医療・栄養のためのExcelワーク（アイ・ケイ・コーポレーション、東京、2025）
参考書	2021できるExcel 2021 Office 2021 & Microsoft 365両対応（インプレス）、 できるWord 2021 Office2021 & Microsoft 365両対応（インプレス）、 できるPowerPoint 2021 Office 2021 & Microsoft 365両対応（インプレス）
教材	ホームページ、パワーポイントで提示する。また、Tamas上にも、本時の授業内容のPDFを提示する。

[ウインドウを閉じる](#)

1-2 栄養学部実践栄養学科

授 業 科 目		単位数		授 業 科 目		単位数	
		必修	選択			必修	選択
栄養学部共通導入科目・入門科目	実践栄養学	2		食事摂取基準論	2		
	初年次教育演習	1		ライフステージ栄養・食事管理実習	1		
	情報リテラシー論	2		栄養教育基礎論	2		
	情報処理基礎実習		1	栄養教育技術論			2
	食と栄養を学ぶための化学		2	栄養教育実践論	2		
栄養学部共通専門科目	食文化論	2		栄養教育論実習	1		
	基礎栄養学	2		臨床栄養学	2		
	公衆衛生学	2		臨床栄養管理論Ⅰ	2		
	栄養生理学	2		臨床栄養管理論Ⅱ	2		
	食品学	2		臨床栄養管理論実習	1		
	食品衛生学	2		臨床栄養教育論	2		
	調理学	2		臨床栄養教育論実習			1
	基礎調理学実習	1		公衆栄養学	2		
	ライフステージ栄養学	2		地域栄養活動論			2
	情報処理統計学	2		地域栄養計画実習			1
	健康スポーツ演習	1		給食管理論	2		
	生涯スポーツ演習		1	給食管理実習	1		
	日本国憲法		2	給食経営管理論			2
専門基礎科目	疫学・生物統計学	2		専門科目	給食経営管理実習		1
	健康情報処理・活用実習		1		管理栄養士実践演習		1
	公衆衛生活動論		2		管理栄養士総合演習		1
	理学的化学的基礎	1			管理栄養士活動実習		2
	生化学基礎実験	1			臨地実習Ⅰ（校外実習）		1
	解剖生理学	2			臨地実習Ⅱ		3
	解剖生理学実習	1			フードシステム学		2
	栄養学実験	1			マーケティング論		2
	生化学	2			看護・介護論		2
	分子栄養学(免疫学を含む)	2			臨床栄養活動論		2
	栄養生化学実験		1		臨床栄養実習		1
	臨床医学総論(感染症を含む)		2		福祉栄養活動論		2
	臨床医学各論Ⅰ	2			福祉栄養実習		1
	臨床医学各論Ⅱ	2			地域栄養・国際栄養概論		2
	食品化学	2			災害栄養活動論		2
	食品化学実験	1			地域マネジメント実習		1
	食品機能学		2		スポーツ概論		2
	調理・加工実験	1			スポーツ栄養学		2
	応用調理学実習	1			スポーツ栄養実習		1
	実践調理学実習		1		フードサービスシステム論		2
	食品衛生学実験	1			フードサービスマネジメント論		2
	栄養アセスメント基礎実習	1			フードサービスマネジメント実習		1
	栄養・食事管理論(アセスメント論を含む)	2			栄養教諭論		2
					栄養教諭論実践研究		2

授 業 科 目		単位数	
		必修	選択
専 門 科 目	総合講座	2	
	管理栄養士プロフェッショナリズム論Ⅰ	1	
	管理栄養士プロフェッショナリズム論Ⅱ		1
	実践栄養学特論Ⅰ	1	
	実践栄養学特論Ⅱ		2
	実践栄養学特論Ⅲ		2
	実践栄養学特論Ⅳ		2
	実践栄養学特論Ⅴ		2
	実践栄養学特論Ⅵ		2
	実践栄養学特論Ⅶ		2
	実践栄養学特論Ⅷ		2
	実践栄養学特論Ⅸ		2
	実践栄養学特論Ⅹ		2
	演習		2
	卒業研究		4

1-3 栄養学部保健栄養学科栄養イノベーション専攻

授 業 科 目		単位数		授 業 科 目		単位数	
		必修	選択			必修	選択
栄養学部共通導入科目・入門科目	実践栄養学	2		栄養・食教育論	2		
	初年次教育演習	1		栄養・食教育実習	1		
	情報リテラシー論	2		公衆栄養学	2		
	情報処理基礎実習		1	応用調理学実習	1		
	食と栄養を学ぶための化学		2	食事計画実習	1		
栄養学部共通専門科目	食文化論	2		給食管理論	2		
	基礎栄養学	2		給食管理実習	1		
	公衆衛生学	2		栄養士活動実習			1
	栄養生理学	2		校外実習			1
	食品学	2		食品開発論			1
	食品衛生学	2		食品分析化学			2
	調理学	2		食品保存技術論			2
	基礎調理学実習	1		食品表示・規格論			2
	ライフステージ栄養学	2		食品機能研究論			2
	情報処理統計学	2		バイオテクノロジー概論			2
	健康スポーツ演習	1		フードセキュリティ論			1
	生涯スポーツ演習		1	フードシステム学			2
	日本国憲法		2	食品開発・マーケティング論			2
専門基礎科目	女性と科学		1	専門科目	食品分析・検査実習		1
	基礎化学実験	1			食品官能評価・物理的評価実習		1
	疫学・生物統計学	2			フードサイエンス実習Ⅰ		1
	解剖生理学	2			フードサイエンス実習Ⅱ		1
	栄養生理学実習	1			フードPBL演習(フードサステイナブル論を含む)		1
	生化学	2			食品微生物検査学		1
	栄養学・生化学実験	1			食品微生物検査実習		1
	微生物学	2			実践食品微生物検査学		1
	分子栄養学		2		実践食品微生物検査実習		1
	免疫学		2		栄養データサイエンス入門		2
	臨床医学概論	2			プログラミング入門実習		1
	食品化学	2			データサイエンスと社会		2
	食品化学実験	1			栄養・料理データ分析		2
	食品衛生学実験	1			保健・栄養ビッグデータ活用		2
	食品加工学		2		社会調査法		2
	食品加工実習		1		栄養疫学データ活用		2
	調理科学実験		1		プログラミング基礎実習		1
	フード・ウェルネス論		2		プログラミング応用実習		1
専門科目	食事摂取基準論	2			AI入門		2
	食事調査実習	1			機械学習の基礎実習		1
	ライフステージ栄養学実習	1			深層学習の基礎実習		1
	臨床栄養学	2			IT活用演習		1
	食事療法実習	1			栄養のための人工知能		2
	食育論	2					

授 業 科 目		単位数		授 業 科 目		単位数	
		必修	選択			必修	選択
専 門 科 目	機械学習の応用実習		1	生理機能学			2
	深層学習の応用実習		1	生理機能検査学			2
	栄養・食生活の課題解決実習		2	生理機能検査学実習			1
	臨床検査医学総論Ⅰ		2	画像検査学			2
	臨床検査医学総論Ⅱ		2	画像検査学実習			1
	臨床病態解析学		2	検査総合管理学			2
	臨床検査診断学		1	精度管理学			2
	解剖組織学実習		1	医療安全管理学			1
	病理学		2	医療安全管理学実習			0.5
	臨床検査学基礎実習		1	採血実習			0.5
	病態薬理学		1	臨地実習			12
	臨床関係法規		1	臨床検査学演習			8
	医学概論		1	臨床検査英文原書講読			2
	医用工学概論		1	家庭経営学(家庭経済学を含む)			2
	医用工学実習		0.5	家族関係学			2
	検査機器総論		1	被服実習Ⅰ			1
	検査機器実習		0.5	被服実習Ⅱ			1
	情報科学概論		1	衣材料学			2
	血液検査学		2	専 門 住居学			2
	血液検査学実習		2	専 門 保育学			2
	病理検査学		1	専 門 家庭科教育法Ⅰ			2
	病理検査学実習		1	専 門 家庭科教育法Ⅱ			2
	病理組織細胞検査学		2	専 門 家庭科教育法Ⅲ			2
	病理組織細胞検査学実習		1	専 門 家庭科教育法Ⅳ			2
	一般検査学		1	介護等体験実習講義			2
	一般検査学実習		0.5	栄養イノベーション特論Ⅰ			2
	寄生虫学		1	栄養イノベーション特論Ⅱ			2
	寄生虫学実習		0.5	栄養イノベーション特論Ⅲ			2
	生化学検査学		2	栄養イノベーション特論Ⅳ			2
	生化学検査学実習		1	栄養イノベーション特論Ⅴ			2
	免疫検査学		1	栄養イノベーション特論Ⅵ			2
	免疫検査学実習		0.5	栄養イノベーション特論Ⅶ			2
	遺伝子・染色体検査学		2	栄養イノベーション特論Ⅷ			2
	遺伝子・染色体検査学実習		1	栄養イノベーション特論Ⅸ			2
	輸血検査学		2	栄養イノベーション特論Ⅹ			2
	輸血検査学実習		0.5	演習			2
	免疫移植検査学		1	卒業研究			4
	免疫移植検査学実習		0.5				
	臨床微生物学		2				
	微生物検査学		2				
	微生物検査学実習		2				
	医療コミュニケーション実習		1				

1-4 栄養学部保健栄養学科保健養護専攻

授 業 科 目		単位数		授 業 科 目		単位数	
		必修	選択			必修	選択
栄養学部共通導入科目	実践栄養学	2		学校救急看護学	2		
	初年次教育演習	1		養護診断総論			2
	情報リテラシー論	2		養護診断各論			2
	情報処理基礎実習		1	養護診断演習			1
	食と栄養を学ぶための化学		2	ヘルスカウンセリング			1
栄養学部共通専門科目	食文化論	2		健康相談活動論	2		
	基礎栄養学	2		特別支援コーディネート(指導法を含む)			2
	公衆衛生学	2		学校精神保健			2
	栄養生理学	2		学校保健学総論	2		
	食品学	2		学校保健学・安全各論	2		
	食品衛生学	2		養護概説	2		
	調理学	2		保健室経営論			2
	基礎調理学実習	1		教職養護論			2
	ライフステージ栄養学	2		社会福祉論			2
	情報処理統計学	2		介護等体験実習講義			2
	健康スポーツ演習	1		発育・ヘルスプロモーション論			2
	生涯スポーツ演習		1	ヘルスプロモーション論実習			1
専門基礎科目	日本国憲法		2	学校健康教育論			2
	医学概論		2	保健科教育法Ⅰ			2
	解剖学		2	保健科教育法Ⅱ			2
	人体生理学	2		保健科教育法Ⅲ			2
	生化学	2		保健科教育法Ⅳ			2
	微生物学	2		看護科教育法Ⅰ			2
	感染制御学実習	1		看護科教育法Ⅱ			2
	免疫学	2		長期学校体験実習指導			2
	病理学		2	長期学校体験実習			4
	薬理学		2	保健養護特論Ⅰ	1		
専門科目	応用調理学実習		1	保健養護特論Ⅱ			2
	臨床医学	2		保健養護特論Ⅲ			2
	食育論		2	保健養護特論Ⅳ			2
	保健統計学		2	保健養護特論Ⅴ			2
	保健社会調査論		2	保健養護特論Ⅵ			2
	環境保健学		2	保健養護特論Ⅶ			2
	小児疾患学	2		保健養護特論Ⅷ			2
	母子保健学		1	保健養護特論Ⅸ			2
	基礎看護学	2		保健養護特論Ⅹ			2
	基礎看護学実習		1	演習			2
	学校救急看護学実習		1	卒業研究			4
	看護学臨床実習指導		1				
	看護学臨床実習		2				
	成人・老年看護学		2				
	母子看護学		2				

1-5 栄養学部食文化栄養学科

授 業 科 目		単位数		授 業 科 目		単位数	
		必修	選択			必修	選択
栄養学部共通導入科目・入門科目	実践栄養学	2		食物加工実習			1
	初年次教育演習	1		食品官能評価・品質評価論			1
	情報リテラシー論	2		食品官能評価・品質評価実習			1
	情報処理基礎実習		1	食文化調理学実習Ⅰ(日本・アジア)			1
	食と栄養を学ぶための化学		2	食文化調理学実習Ⅱ(日本・西洋)			1
栄養学部共通専門科目	食文化論	2		食文化調理学実習Ⅲ(製菓・製パン)			1
	基礎栄養学	2		マーケティング論入門			2
	公衆衛生学	2		フードビジネスマネジメント論(厨房設計を含む)	2		
	栄養生理学	2		業界企業分析論			2
	食品学	2		起業入門			2
	食品衛生学	2		栄養食文化統計学実習	1		
	調理学	2		食生活調査法実習			1
	基礎調理学実習	1		Webプログラミング実習			1
	ライフステージ栄養学	2		料理データベース論実習			1
	情報処理統計学	2		グラフィックデザイン実習			1
	健康スポーツ演習	1		映像表現法実習			1
	生涯スポーツ演習		1	フードコーディネート論	2		
	日本国憲法		2	フードコーディネート論実習			1
				ワインコーディネート論実習Ⅰ			1
専門基礎科目	文化学概論	2		専門科目	ワインコーディネート論実習Ⅱ		1
	食生活文化論	2			テーブルカラーコーディネート論		1
	多文化複合論		2		留学対策英語		2
	栄養と健康	2			ビジネス英語		2
	栄養学実習		1		フードスペシャリスト論		2
	食事計画論	2			フードスペシャリスト試験対策講座		1
	食品栄養学基礎	2			現代食文化論		2
	食品衛生学実験		1		地域振興論		2
	応用調理学実習	1			地域振興論実習		1
	基礎経営学	2			国際食活動フィールドワーク実習		2
	フードシステム学	2			地域観光ビジネス論実習		1
	プランニング入門	2			食企業経営論		2
	フードクリエイション実習		1		食品小売流通論		2
	写真表現法実習		1		商品開発実習		1
	国際理解論	2			外食メニュー開発実習		1
	食生態学	2			カフェレストラン実習		1
専門科目	国際食文化論		2		食表現論		2
	和食文化論		2		メディア編集論実習		1
	食具文化論		2		食空間デザイン論		2
	食文化フィールドワーク実習		1		パッケージ論(デザインを含む)		2
	栄養教育・食育論		2		イベントコーディネート論実習		1
	国際栄養学	2			海外英語語学研修		4
	食事療法学		2				
	食品加工・保蔵学		2				

授 業 科 目		単位数		授 業 科 目		単位数	
		必修	選択			必修	選択
専 門 科 目	ホスピタリティ英語		2	専 門 科 目	食文化栄養学特論Ⅲ		2
	英語で学ぶ世界の食文化		2		食文化栄養学特論Ⅳ		2
	国際栄養教育実習		1		食文化栄養学特論Ⅴ		2
	アカデミックライティングⅠ	1			食文化栄養学特論Ⅵ		2
	アカデミックライティングⅡ	1			食文化栄養学特論Ⅶ		2
	食文化インターンシップ実習		1		食文化栄養学特論Ⅷ		2
	食文化栄養学総論Ⅰ	1			食文化栄養学特論Ⅸ		2
	食文化栄養学総論Ⅱ	2			食文化栄養学特論Ⅹ		2
	食文化栄養学演習	1			食文化栄養学特論ⅩⅠ		2
	食文化栄養学実習	2			食文化栄養学特論ⅩⅡ		2
	卒業研究	6			食文化栄養学特論ⅩⅢ		2
	食文化栄養学特論Ⅰ	1			食文化栄養学特論ⅩⅣ		2
	食文化栄養学特論Ⅱ		2		食文化栄養学特論ⅩⅤ		2

大学等名	女子栄養大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	女子栄養大学データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

取組の概要

女子栄養大学データサイエンス・AI教育プログラム



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 申請用

目的

建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」を、データサイエンスで実現するための基礎的知識と技能の修得。

開講科目の構成

講義2単位と実習1単位を通じ、データサイエンス・AIに必要な知識と技術を修得する。

栄養学部共通導入科目・入門科目
「情報リテラシー論」
「情報処理基礎実習」

身に付けられる能力

- ✓ AIの仕組みを理解し、適切に利用できる能力
- ✓ 人びとの栄養や健康にかかわるデータの取り扱いや分析を、高い倫理観を持って実行するための情報リテラシー力

修了要件

指定科目を修了すること。

実施体制

女子栄養大学データサイエンス教育運営委員会のもと実施する。
学生による授業評価、就職先の意見等に基づく自己点検・評価を実施し、プログラムの維持・改善を行う。

